



くらしが
どんどん便利に！

今すぐダウンロード！

佐賀市公式スーパーアプリ

佐賀市のいろいろ、
アプリひとつでかんたんに

たとえば...

- **ごみ**の収集日をお知らせ！
- **図書館**ミニアプリで本を予約！
- **防災情報**をタイムリーにお届け！
- **市役所に行かずに電子申請**！
- **公共施設予約**も可能！

今後も使える機能がどんどん増えます！



佐賀市IDを作成すると、もっと便利に使えます！

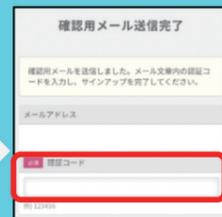
ID登録手順



「佐賀市IDを作る」をタップ



アカウント情報入力



登録したメールアドレスに届いた「認証コード」を入力

SAGA
CITY

【お問合せ】DX推進課
✉ dx@city.saga.lg.jp

特集

使おう！
佐賀市公式
スーパーアプリ



「日本一便利なまち」を スマホで実現

スマート・ローカル！
SAGACITY

デジタルが充実している
田舎に住むこと
いま、いちばん“かしこい”
住スタイル



英単語の“sagacity”には、
“**聡明・かしこい**”の意味があります

「佐賀市のいろいろ、アプリ一つで簡単に」をキャッチフレーズに、生活に必要なさまざまな機能をまとめた「佐賀市公式スーパーアプリ」が注目を集めています。他県の自治体の例では、1万人ダウンロードまで1年以上かかったケースもありますが、使い勝手のよさなどが支持され、今年6月11日の本格運用開始から約1カ月で2万人ダウンロードを超えるなど、順調な滑り出しを見せています。今回の特集では、その機能や魅力をお伝えします。

「図書館カードを持って行かなくても、スマートフォンで本を借りられるところがいい」「ごみの日の通知機能が特に助かっています」「市役所の窓口待ちの様子を知ることができ、スマートに行動しました」。スーパーアプリを使い始めた市民のみなさんから市DX推進課に届いた感想の一部です。「市役所に関する調べたいことがホームページよりも見つげやすい」「このようなアプリはなかったから、これから改良を重ね、もっと便利にしてほしい」といった期待の声も寄せられています。

スーパーアプリの構築を含めたDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進にあたっては、国の令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金のうち、複数のデジタルサービスを実施するなど、全国モデルケースとなる取り組み、いわゆるTYPE2に、九州で唯一の採択を受けています。システム開発は、佐賀大学発の東証プライム上場企業で急成長を続けている「オプティム」（菅谷俊二社長）が担当。佐賀市から「日本初」、地域みんなで創るスーパーアプリとして、利便な輪を大きく広げていくことを目指しています。

「まだ使ったことないよ」というみなさんは、まずは次ページの二次元コードから佐賀市公式スーパーアプリをダウンロードしてください。おすすめの機能を紹介します。

暮らしに役立つ ミニアプリ続々と

そもそもスーパーアプリとは、一つのアプリの中に複数のミニアプリが入ったアプリのことをいいます。佐賀市公式スーパーアプリには、暮らしに役立つ便利で快適なミニアプリがたくさん搭載されています。



図書館カード登録

あなたの図書館

スマホ画面のバーコードで本を貸出

担当課から

次におすすめるのは「図書館カード登録」のミニアプリです。佐賀市立図書館の利用カード裏面のバーコードをスマホのカメラで読み込むことで、利用カードをスーパーアプリ上にデジタルカードとして表示できるようになります。このデジタルカードを窓口で提示することで本を借りることができます。「図書館まで来たけど、利用カードを忘れた」「図書館の近くまで来たついでに本を借りていこう」といったときに便利です。

佐賀市立図書館に関連したもう一つのミニアプリは「あなたの図書館」です。こちらは自宅にいながら図書館の蔵書を検索したり、借りたい本を予約したりできます。また、自分が借りている本や予約している本の状況を確認することもできます。

「あなたの図書館」の利用については現在、利用カードの番号と生年月日の下4けた（例：8月8日生まれの場合は「0808」）でログインすることが必要ですが、来年の2月頃をめどにスーパーアプリを立ち上げるだけで利用できるように改修を進めていきます。



ごみカレンダー

何のごみの日かを事前にお知らせ

最初におすすめるしたいのは、ごみカレンダーを表示できるミニアプリです。自分が住んでいる地区を設定することで、お住まいの地域のごみカレンダーが表示され、いつが何のごみの日なのかを、手軽に確認できるようになります。通知設定をすることで、ごみ出し日の当日や、前日の指定した時間に自動でスーパーアプリからお知らせしてくれるので、ごみの出し忘れを防ぐことができます。

「これは燃えるごみ？ 燃えないごみ？」。ごみの分別で悩むこともあると思いますが、こんな時に便利な「ごみの分別検索」の機能もあります。五十音順で品目が並んでいるので調べやすく、キーワード検索もできるようになっています。それからもう一つ、「ごみ搬入予約」のミニアプリもあります。市清掃工場（高木瀬町）や市清掃工場南部中継所（川副町）にごみを直接搬入したい方は、土曜・祝日については事前予約が必要です。市のホームページからも予約できますが、今回、ミニアプリに採用されたことで、より分かりやすくなっています。



担当課から

佐賀市の燃えるごみの収集日は「月、木」「火、金」のいずれかで、ほとんどの人が覚えられていると思います。一方、月2回の燃えないごみ、ペットボトル、資源物（紙・布・ビン・缶）の収集日については、はつきり覚えていないという方もいらっしゃるかもしれません。台所などに紙のごみカレンダーを貼っている方が多いと思いますが、外出時などは見ることができませんので、紙とスマホのミニアプリの二つを上手に使うことで、便利になります。「台風の時にごみを出しているのが悩む」といった声も寄せられます。今後、そうした疑問にプッシュ通知でお知らせできるようにしていければと思っています。

災害・防災

防災情報を速やかにお届け

担当課から

もう一つチェックしてほしいのは「災害・防災」のミニアプリです。大雨や台風などの時にいち早く防災情報を届けるのが狙いで、ミニアプリの中には「浸水情報提供システム」「防災情報システム」「災害・防災に関するお知らせ」「ハザードマップ」「避難所情報」の五つに分かれています。

「避難したいが、どこがどのくらい浸水しているのかわからない」。こんな時に役に立つのが、浸水情報提供システムです。水に浸かりやすい地区の浸水状況を地図上にリアルタイムに表示する仕組みになっています。

市では、過去の水害の経験などを踏まえ、市内の浸水が発生しやすい地区83カ所に高さ1.2mの浸水標尺を立てています。うち29カ所については水害時の浸水の深さを自動計測できるようにしており、その結果が表示されます。大雨時にミニアプリで画面を表示し、確認したい地点をタップすると、浸水の深さが表示されます。浸水深5cm未満を○印、5cm以上を△印の印にしているほか、浸水の深さに応じて紺色を濃くするなど見やすいように工夫されています。晴れた日は「現在は5cm以上の浸水は発生していません」と表示されます。

これまで防災情報には市のホームページなどからアクセスできましたが、ミニアプリに採用されたことで、いち早く情報を入力できるようになっています。

今後、気象情報や防災カメラ、浸水状況マップ、避難所開設状況マップなど、必要な情報が一目でわかりやすいページになるようにミニアプリをダッシュボード化するなど、更にバージョンアップしていきたいと思っています。



デジタルの力を活用し 日本一便利なまちへ

坂井英隆
佐賀市長



佐賀市公式スーパーアプリは、1つのアプリで、生活に必要ないろんな機能がまとめて手に入る、便利で快適なサービスをお届けするアプリです。6月11日に本格運用を開始して、ごみの収集日をお知らせする「ごみカレンダー」や図書館の本の予約や検索ができる「図書館ミニアプリ」、防災情報をタイムリーにお届けする「災害・防災ミニアプリ」など、便利で快適な機能が実装されています。

は、小中学校の出欠連絡ミニアプリや、粗大ごみの予約受付、地域のイベント情報のプッシュ配信やデジタル掲示板、地域活動の善意をポイント化などの生活に便利な機能が目白押しです。みなさん、ぜひご期待ください。

また、11月頃には、佐賀市公式スーパーアプリをダウンロード、ID登録し、マイナンバーカードで本人確認をすることで、市内で使える2500円分の電子地域振興券が抽選で4万人に当たるキャンペーンを開催します。

まだダウンロードされていない方は、この機会にぜひ、佐賀市公式スーパーアプリをダウンロードし、電子地域振興券を手に入れましょう。

佐賀市はデジタルの力を活用し、日本一便利なまちを目指して、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進しています。佐賀市公式スーパーアプリは、まさに市民のみならず地域、そして企業や行政とつながるみんなの「デジタルタッチポイント」です。

みなさんとともに、佐賀市公式スーパーアプリを創っていき、佐賀市が日本一便利なまちになるだけでなく、便利の輪を全国にもっともって広げていきましょう。

MOTEMOTEさが8月号には、佐賀市公式スーパーアプリ導入に関する坂井英隆市長のインタビューを掲載しています。9月号と合わせてぜひご覧ください。

がばいサカえーる Pay

プレミアム付き 地域振興券とも連携

佐賀市公式スーパーアプリは、「佐賀市プレミアム付き地域振興券」とも連携しています。プレミアム付き地域振興券には、電子券と紙券があり、スーパーアプリから両方の申し込みができるようにしたところ、たくさんの応募をいただきました。今回分に関しては、既に申し込みを終えています。が、新たなキャンペーンを11月頃に予定しています。

佐賀市公式スーパーアプリをダウンロードしてID登録し、マイナンバーカードをスマホで読み取り本人確認をすることで、スーパーアプリ内の「がばいサカえーる Payアプリ」で使える2500円分の電子地域振興券が抽選で4万人に当たります。ご期待ください。



イベントに参加しよう!

プッシュ型で イベント情報 応募も手軽に

スーパーアプリ内には、「イベントに参加しよう!」というミニアプリもあります。サッカー日本代表の森保一監督を招いたトークイベント(8月10日、佐賀市文化会館)に先立ち、ミニアプリで参加者を募集したところ、あっという間に600人以上の応募がありました。ホームページと違い、情報をプッシュ型で届けることができることに加え、スマホで手軽に申し込みできることも後押しになったようです。市では、サガン鳥栖「佐賀市民応援マッチ」の無料招待応募などにもミニアプリを活用しました。今後もイベントや講演会の参加者募集などに積極的に使っていく考えです。



カスタマイズ時は①②の順に操作

ホーム画面を自分好みにカスタマイズ

6月11日の本格運用開始に合わせてスーパーアプリのバージョンアップを行い、新たな機能を追加しています。一つ目は「お知らせ機能」です。これは、佐賀市やスーパーアプリからの新着情報を見やすく、わかりやすく、ポップアップでお知らせする機能です。

二つ目は「ホーム画面のカスタマイズ」です。こちらはミニアプリのアイコンを自分好みに並べ替えができる機能です。よく使うミニアプリや興味があるミニアプリをホーム画面に好きな順番で並べることができるので、素早くほしい機能や情報にアクセスできるようになります。

電子申請

引越しなどの 手続きを簡単に

このほか、電子申請のミニアプリもあります。「引越し」「年金」「パスポート」「妊娠・出産」「子育て」「高齢者・介護」のそれぞれの項目について、電子申請ができるかどうかや、必要な手続きを分かりやすく紹介しています。事前に電子申請できるものも多いですので、市役所に行く前にチェックしてみてください。

